



薄井東町漁協冷蔵庫裏の海拔 10 m看板

海拔表示板を設置

災害への備えと

心構え

本町では、6月から津波対策の一つとして、「海拔10m看板」を設置しています。

この看板は、町内の海に面するすべての集落で、津波発生時の避難路となる道路に満潮時からの海拔10m地点に設置しています。しかしながら、長島町に津波警報、あるいは大津波警報が発令された場合、この看板の地点まで避難すれば安全という表示では決してありません。ここが、海拔10m地点であるという表示になりますので、「この地点以上に逃げてください」と

いう表示です。3月11日に発生した東日本大震災では、最大で38mを超える高さの津波が襲ったと言われており、「3mの津波」と表現される津波でも、陸地に到達するときには、その3倍から4倍の高さになります。

日ごろから、安全に避難できる高台などを、自主防災組織や家族で決めておくことが重要です。本町でも、津波に対する一次避難場所の指定や、津波ハザードマップの作成など、今後も津波対策を進める計画です。



東日本大震災による津波のつめ跡



津波によって打ち上げられた船